

清潔・誠実・実行力

市議会議員 深山たかし

上尾に活力 地域力向上



議会リポート

高齢者福祉について

高齢者が生きがいを持って元気に生活し、積極的に社会に参加できる環境づくりがますます重要であると考えております。生きる意欲につながる生きがいのある生活が健康の維持、増進につながり、生きがいづくり活動は精神的肉体的な老化を遅らせ、寝たきりや痴呆の予防効果があるとも言われております。

したがって、高齢者の生きがい対策を推進することは、長期的にみて介護経費や医療費の軽減につながるメリットが大きく、社会全体の活力の維持、増進という面からも極めて大きな意義があると思えます。そこで、今後ますます重

要性を増す高齢者の生きがい対策について、市としてどのように進めてい行くのかを聞きました。

高齢者福祉計画における「上尾らしさ」について

基本理念として掲げている「高齢者が輝き続けるまち上尾」を実現するため、基本目標として、①健康でいきいき過す「介護予防・疾病予防の推進」、②いつもと変わらない毎日を送る「高齢者生活支援施策の充実、まちに活力を与える」―高齢者の社会参加の促進、④兵に支え合う―地域における支援体制の確立、を始めとする七つの基本目標を掲げ、これらの実現に鋭意取り組

むことがますますもって肝要と考えている。

特に、昨年末より高齢者の介護予防の取り組みとして、大勢のボランティアの協力により「アツピー元気体操」や「脳の健康教室」を実施しているが、いずれも大変良い成果を上げているところで、このような市民参加による事業というものに積極的に取り組むことにより、「上尾らしさ」というものを作り上げていきたいと考えている。

敬老の日を中心とした「ぐるっとくんの無料乗車券発行」について

【問】桶川市では、平成十二年より敬老の日を中心とした独自の施策としてコミュニティバス（ベニバナ）を七十五歳以上を対象に九月一ヶ月間無料パスポートを発行し、好評を得ている。「ぐるっとくん無料乗車券発行」を検討して貰いたい。見解を伺いたい。

【答】「ぐるっとくん」は

高齢者の交通手段として多くの方に利用されていることから、指摘の点については歓迎される事業と思われるほか、高齢者の外出の機会を増やすことにつながり、ひいては健康の増進も期待できると考えられるが、他の事業の取り扱いや事業担当課との調整も必要になることから、今後、以上の点を踏まえ、検討したい。



上尾市のコミュニティバス ぐるっとくん

上尾市における二〇〇七年問題とは

職員の大量退職が市政に与える影響は？

退職職員数

平成十八年度末に定年を迎える職員が三十三名、平成十九年度末が四十三名、平成二十年度末が四十九名、平成二十一年度末が七十八名、平成二十二年度から二十七年までの間は、毎年六十名から八十名が予定されている。

退職金は、
どうするの？

退職金については、本市の場合は、埼玉県市町村総合事務組合に加入しており、加入自治体の職員構成に見合った負担金率を設定している。その支出は若干の増加傾向はあるが、一時

期に急激な財政負担を招くことはない。

専門職の技術の 伝承について (水道部)

水道部職員の今後の定年退職者数は、平成二十二年までの五年間で十七名の職員、特に水道部三〇年以上のベテラン職員のほとんどが定年退職を迎えることになる。これは、現在の職員が五十一名ですので三分の一が退職することになる。

専門職の経験、知識の伝承方法は、水道事業におきましては、たとえば、水道配管の修繕に伴う仕切弁の操作についても、いわゆる「水の泣く音を聞きながら操作すること」と表現されますように、非常に慎重を

期することが要求されるもので、仕切弁の開閉する速度によっては、赤水の原因となることや、音聴棒（耳にあてて水の流れる聴く器）を使用して漏水箇所の発見

する技術等、また、配水管の設計においても、経験と熟練が要求され、十分に力を発揮するには、少なくとも四年から五年の期間が必要となる。

水道部では財団法人「日本水道協会」の主催する全国規模の研修会や関東地区そして埼玉県支部の研修会に積極的に職員を派遣しているほか「埼玉県央水道連絡協議会」においても研修を開催し、水道技術の伝承に努めているところ。

芝川小学校大規模改修完了

築三十一年が経過した校舎と体育館、特別教室棟の大規模改修工事が完了し、綺麗で、機能的に生まれ変わりました。



大規模改修が終了した芝川小学校（左体育館・右校舎全景）



編集後記

十二月「広報あけお」で、発表した「十七年度バランスシート」の退職給与引当金（百十八億三千八百万円）が、一般会計決算数値の間に関連性を見いだせませんでしたので質問しましたが、合理的な説明を頂けませんでした。

説明出来ない数字を平然と公表する姿勢に非常に疑問を感じております。

決算公表とは、市民に分かって頂いて初めて説明責任を果たすことになるものだと思います。

発行元：深山たかし後援会
発行責任者：深山孝
上尾市大字上1774-7
048(776)0575
fukayama-sov@jcom.home.ne.jp

ホームページは、検索サイト、
”深山たかし”で閲覧できます。